



Bチャレ

提案公募型協働事業

2024



＼文京区で実施する新たなチャレンジを応援します！／

Bチャレは、区民や団体による地域課題の解決や地域活性化に向けたチャレンジを、協働で実施することを応援する事業です。

ボランティア・NPO・企業・行政・学生(学校)・ソーシャルビジネス等による地域課題解決の事業、解決に向けて協働をするためのチャレンジに対する活動に助成します。

※事業愛称として、文京（Bunkyo）の「B」、チャレンジの「チャレ」から「Bチャレ」としました。

新たなつながり部門

年度ごとに区と社会福祉協議会が設定した地域課題に対して、その解決に向けた礎を築くために課題についての周知や協働相手や理解者を増やすことを目指し、団体と区が連携し、協働する事業への助成です。

チャレンジ部門

地域課題の解決や地域活性化のために活動する団体のイベントやキャンペーン事業を通して文京区での実績や関係づくり、課題の検証を応援するための助成です。



協働とは

協働は、共通の目的・目標を設定するところから始まり、対等な立場で役割分担・協力しながら事業を進めていきます。そのため協働には対話が不可欠です。

フミコムは、事業について相談に乗ったり広報活動のサポートはもちろん、団体と区担当課との間に入り、円滑な事業進行のための調整等のサポートを行なっています。

新たなつながり部門



障害の有無に関わらず
文化芸術活動に参加・鑑賞
することを容易にする
取り組み



町会・自治会等が行う地域
コミュニティ活動の担い手
を創出するために人材を
発掘・育成する活動



町会・自治会の継続的な
運営をICT等でサポート
する活動



外国籍の住民が日常生活を送
る上で必要な日本語を学び、交
流できる場をつくるための
環境整備をする活動



文京区内の困難な問題を
抱える女性の居場所と相談
から支援につなげる活動



家庭のCO₂排出量削減を促
進するための、区民の意識
啓及び身近で具体的な
取り組みの周知活動



その他、団体の専門性を
活かしたテーマで提案
された取り組み



〈2024年度版 文京区の地域課題〉

「新たなつながり部門」は、課題解決のための事業を通して地域課題を周知し理解者を増やすことを目的としています。2024年度、区と文京区社会福祉協議会が連携し、「文京区が考える地域と協働で解決したいこと」として上記7つの課題をあげました。

助成金額

1団体最大 **100万円**

チャレンジ部門

地域の団体等が、文京区の地域課題だと考えるテーマの検証を目指して行うイベント、あるいはキャンペーン事業への助成です。

助成金額

1団体最大 **20万円**



◀ 募集要項の詳細

令和6年度(2024年度)Bチャレ
における助成要件、応募方法、
審査基準等の詳細



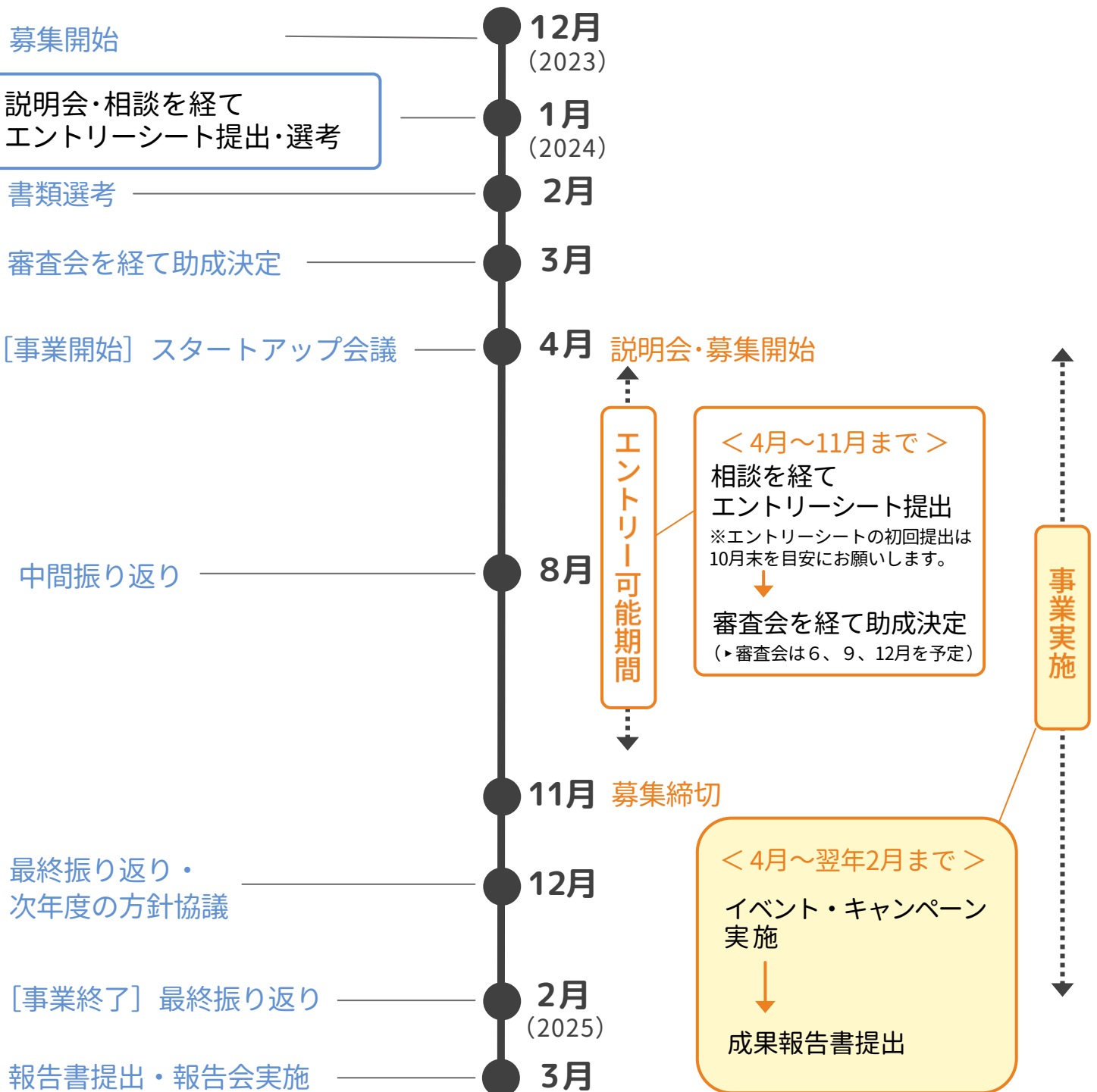
◀ 過去の助成団体一覧

平成30年度(2018年度)から令
和5年(2023年度)に実施され
た事業の助成団体や報告書等

フミコムはエントリー前の事業相談からサポートを行います。その他にも専門相談や講座等を活用することで連携する力を高めることが可能です。

新たなつながり部門

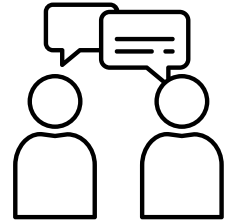
チャレンジ部門



2 部門共通

① 相談 ↓ 提出

まずは内容がまとまっていなくても大丈夫ですので、フミコムまでご相談下さい。どのようなチャレンジをしたいのか、フミコムの相談を経てエントリーシートをご提出いただきます。
(エントリーシートは公開しておりません)



② 審査

エントリー期間内にご提出された書類に基づき、フミコムでは関係する担当課へのヒアリング等、事業に関する情報収集を行います。その後、文京区（新たなつながり部門は外部審査員を含む）と社会福祉協議会で審査会を行います。



③ 実施

事業実施前にスタートアップ会議を開催し、審査会からのフィードバックを含めて共有し、改めて関係課と成果指標を設定します。協働事業を通じて課題の解像度を高め、団体の連携力を高めるため、地域資源の情報やマッチングの機会等を提供します。



④ 報告書 提出

定期的な経過報告をいただき、客観的なフィードバックを受けられる機会をつくります。関係課をはじめ、協働事業を通じて関わった関係者からのコメントやアドバイスをお伝えし活動の継続に向けたコーディネートを行います。



新たなつながり部門

令和5年度の採択事業一覧

みんながつながる

「ワークスペースさきちゃんち」

実施団体：さきちゃんち運営委員会
 担当課：生活福祉課（継続3年目）
 助成額：719,000円

誰もが気軽に訪れることのできる多世代型の居場所を常設し、そこでのプログラムに参加したり、来訪者同士の交流を通じてひきこもり当事者の方々が社会に関わりたいと思えるきっかけをつくる。



「小石川植物祭2023」

実施団体：小石川植物祭実行委員会
 担当課：区民課（継続2年目）
 助成額：1,000,000円

小石川植物園を舞台に「命名」をテーマに祭りを開催。植物について知り、また関連した体験を提供すること等を通じて、植物園が街の個性であることに気づいたり、住民同士のつながりを生むきっかけとする。



街じゅうボードレスアートミュージアム構想

実施団体：文京アートプロジェクト
 担当課：アカデミー推進課（継続2年目）
 助成額：880,000円

区内障害者施設によるアート作品の展覧会を行う。アート・コミュニケータとの連携により作品に関する理解を深め、障害の有無に関係なく誰もが文化芸術に触れられる機会を創出する。



チャレンジ部門

令和5年度の採択事業一覧

ちいさなまちの音楽会

実施団体：ムジンレコーズ
助成額：200,000円

千石のまちで、親子で楽しめる音楽祭を開催し、地域住民の交流を図る取組。会場には千石にある教会や、保育園、ランドリーなど身近で楽しめる場所を設定し、親子連れでも気兼ねなく楽しめるようにする。各所で活躍するアーティストのほか、地元の音楽好きの方もエントリーした。



防災＆福祉まち歩き

防災視点からバリアフリーマップを考え、作る

実施団体：NPO法人リーブ・ウィズ・ドリーム
助成額：200,000円

他区でバリアフリーマップ作成ワークショップを地域住民と一緒にやってきた実績のある団体が、文京区で防災マップとバリアフリーマップを掛け合わせるという団体初の試みを実施する。今回は、増水時に水害が想定され、避難が必要となる地域を対象とする。地域住民と対話をしながらの実施、作成を目指す。



架け橋となる人材活用により

専門職と地域を顔見知りにする

実施団体：NPO法人地域ネットワークとらいあんぐる
助成額：129,000円

既に介護予防やフレイル予防の取組みを長年続けてきた実績のある団体が、専門職に対して、何か問題が起きてからケア的に関わるのではなく、住民活動に参加者として関わることで、継続的な関係性をつなぎ、その中で予防につながる専門性を発揮していくことの重要性を伝える。団体では既に管理栄養士（専門職）から地域をつなぐ活動をスタートしており、今回は理学療法士を対象とする。



フードシェアリングサービス文京

実施団体：認定NPO法人街ing本郷
助成額：176,000円

個人商店のフードロス対策として、廃棄になってしまうまだ食べられる食品を、地域食堂等へ届ける仕組み作りを目指す。また、実際にニーズがあるのかを調査するため、区の商店街連合会と連携し、食品ロスが出そうな商店に対してアンケート調査を実施する。受け取る先の地域食堂等にもアンケート調査を実施し、持続可能な仕組み作りを行う。





社会福祉法人 文京区社会福祉協議会 地域連携ステーションフミコム

〒113-0033
東京都文京区本郷4-15-14 文京区民センター 地下1階



開館日 月～土曜日 9:00～21:00
※電話・相談対応は19:00まで
日・祝・第4月曜日 9:00～17:00
※開館の最新情報について下記Webより
ご確認ください。

休館日 年末年始（12/29～1/3）
施設点検時（随時）

電話 03-3812-3044

メール fumikomu@bunsyakyō.or.jp

WEB <https://fumicom.tokyo>

SNS @bunsyakyō *Facebook/Twitter/Instagram